

CLOSE UP!



会場の参加者に語りかけるように発表する螺良さん

家の光記事活用体験発表で 螺良朋子さんが最優秀賞

栃木県家の光大会



螺良朋子さん

平 成30年度栃木県家の光大会が、7月18日にパルティとちぎで開催されました。JAグループの役員、女性会会員と関係者260人が参加。大会は『家の光』の普及に貢献したJA、女性会を表彰し、記事活用の体験発表を行うものです。

体験発表では螺良朋子（みどり会瑞穂野支部）さんが「地域との繋がりを絵手紙で」と題して発表し、最優秀賞を受賞。螺良さんは来年2月の全国大会に出場します。なおJAは普及優績組合として表彰されました。

CLOSE UP!

JAうつのみや 福祉事業紹介

「JAほほえみサロン」の取り組み

JAうつのみやは高齢化の進展に伴う介護予防の一環として、平成28年度から65歳以上の地域住民を対象に「JAほほえみサロン」を開いています。29年度からはJA女性組織みどり会各支部が主体となって開催。地域住民が家の光記事を活用した各講座や脳活性化の手遊びを体験しました。開催の様子をご紹介します。



7/5 みどり会清原支部
 気の合う仲間とおしゃべりを楽しみながらミニモップを作りました



6/15 みどり会上河内支部
 手遊びで楽しく脳を活性化



6/8 みどり会河内支部
 毛糸と割り箸など身のまわりのものを使ってミニモップを作りました

5/23 みどり会瑞穂野支部
 皆さんの感性が光る絵手紙が完成しました



6/27 みどり会姿川支部
 会員と一緒に身近な材料を使って飾り皿作りに挑戦

JAの介護サービス

居宅介護支援・訪問介護・通所介護を行っています。
介護が必要になった時、お気軽にご相談ください。

居宅介護支援

ケアマネジャーが、利用者やご家族のニーズに合わせてケアプラン(居宅サービス計画)を作成し、自宅での介護を支援します。申請の代行や更新もおまかせください。



前列左: 増山仁子 後列左: 石川八栄子 後列右: 神永恭子 前列右: 渡邊節子

訪問介護

ホームヘルパーが自宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの身体介護や、調理・洗濯・掃除など日常生活の支援を行います。



左: 蓮見かをり 中央: 横町世津子 右: 亀山恵子

通所介護

デイサービスセンター「ほほえみ上三川」では、ご自宅までの送迎・入浴・食事・レクリエーション・体操・家庭菜園での野菜作りなど、利用者1人ひとり最適なサービスを提供しています。



住み慣れた地域で介護を必要とする皆さんが、自立した日常生活を送れるように職員一同努力してまいります。

デイサービスセンター
「ほほえみ上三川」

おがわ よし ふみ
小川 祥史 施設長

デイサービスセンター『ほほえみ上三川』



☎(0285)55-1322

〒329-0605 上三川町西蓼沼16-1

募集

ホームヘルパー&
「ほほえみ上三川」介護スタッフ

私たちと一緒に働いてみませんか。にぎやかで笑顔いっぱいの職場です。ご興味のある方は生活福祉課までお問い合わせください。

ほほえみサロンや介護サービスに関するお問い合わせやご相談は... JAうつのみや 経済部生活福祉課 ☎028 (621) 8798



出荷規格を確認する部員

「幸水」出荷本番に向け規格を確認 梨専門部

梨 専門部は7月30日、東部選果場で平成30年産「幸水」の出荷目ぞろえ会を開きました。部員や関係者約140人が参加。露地幸水の出荷本番に向け、部員が現物を手に取り、カラーチャートと見比べながら念入りに規格を確認。市場担当者から収穫時や出荷時の注意事項について説明を受けました。

島田典男専門部長は「高品質な梨の生産に部員一丸となって取り組み、市場のニーズに対応できるように出荷していこう」とあいさつしました。

管内畜産後継者が初の研修 牛ラボ

管 内の牛肥育・繁殖経営を担う若手生産者で構成される牛ラボは、7月19日、グループ結成後、初の視察研修会を宇都宮市で行いました。メンバーは須藤尚代表の牛舎で設備や黒毛和種と交雑種の飼養管理を見学し、活発に情報交換をしました。

メンバーは栃木県農業大学校の畜産教育「ドリーム牛舎」も見学。ICTを用いた飼養管理等を学びました。



須藤代表の牛舎を見学するメンバー

栽培管理の要点を学ぶ 玉葱専門部

玉 葱専門部は8月2～3日、東部選果場、南河内営農経済センター、上三川野菜集荷所で栽培講習会と土壌診断事後指導会を開きました。3会場で部員や関係者延べ75人が参加。部員は栃木県河内農業振興事務所の担当者から、べと病対策の徹底や品種・地域特性を考慮して適期に作業を行うことなど栽培管理の要点の説明を受けました。

土壌分析結果に基づいた事後指導では、部員は栽培に適した土づくりに関してアドバイスを受けました。



栽培管理の要点を学ぶ部員



消費者に配布する青壮年部の海老原俊一部長

消費者に笑味ちゃんうちわと地元産米を配布 みんなのよい食プロジェクト30

JAは8月10日、JR宇都宮駅西口のペディストリアンデッキで「みんなのよい食プロジェクト30」街頭宣伝活動を実施しました。JA青壮年部の役員4人と営農部営農企画課の職員3人が通行中の消費者に明るく声をかけながら、シンボルキャラクター「笑味ちゃん」が描かれたうちわと管内産コシヒカリ「みやおとめ」の真空パックを配布しました。

次世代への農業承継を支援 親元就農支援セミナー

JAは親元就農支援セミナーを、7月に開催しました。これは農業の担い手となる組合員家族を対象に、独立経営に向けた情報と支援制度を提供していくもの。会場の上河内・南部・上三川の各営農経済センターには、関心のある組合員やその家族が参加しました。

セミナーでは、栃木県・各市町・農業公社から支援制度について、JAからは営農振興・担い手積立金事業、資金制度、事業継承手続などの説明を受けました。また新規就農事例も紹介され、終了後は個別相談会も持たれました。



担当者の説明に耳を傾ける参加者



生育状況を丹念に確認する部員と担当者

抑制トマトグループの現地検討会を行う トマト専門部

トマト専門部抑制トマトグループの現地検討会が8月7日に開かれ、部員と関係者22名が参加しました。検討会では5カ所の生産者ほ場を視察し、生育状況などを確認しました。

視察後には河内農業振興事務所の根岸主査より、「今年は梅雨明けが早く高温乾燥が続いています。今後も暑い日が続くので、遮光材などで高温・日射対策を行っていただき、高品質のトマト生産に努めてもらいたい」と、病害虫対策と合わせて注意喚起しました。

7/8

アグリスクール
（河内宮経センター）
「加工用じゃがいもの収穫体験」
親子が夢中になって
ジャガイモを
掘り起こしました



7/28

アグリスクール
（総合企画室・監査室・総務部）
「カゴメ工場見学と酪農体験ツアー」



酪農家と一緒に
ソーセージ作りも体験しました

7/16

アグリスクール（西部宮経センター）
「田んぼの生きもの調査」

田んぼ周辺の水生生物を
夢中になって捕まえました



7/27

第43回JA栃木青年部連盟
球技大会
青壮年部が野球で健闘



7/14

南部支所・JAグリーン
インターパーク感謝祭
大勢の来場者で
にぎわいました

7/18

みどり会平石支部
「なんでもサークル」
クラフトバンドで
ダストボックス作りに挑戦



7/20

みどり会雀宮支部
癒し系アイテム
「苔玉」を作りました



7/25

みどり会上河内支部
炭酸まんじゅう作りを
体験しました



7/22

第19回パワフルアグリフェア
参加者がJA職員から
最新鋭機の説明を受けました



information / 管内インフォメーション



特別表彰を受賞した村田さん

村田隆一さんが特別表彰を受賞 全国和牛登録協会創立70周年記念式典

6月21日に京都府で、公益社団法人全国和牛登録協会による創立70周年記念式典が行われました。式典の中で宇都宮市石那田町の和牛繁殖農家の村田隆一さんが長年の和牛改良への貢献などから、会員農家特別表彰を受賞しました。

組合員の皆さまからの地域の話や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。

※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

新制度

「収入保険」に加入しよう！

2018年10月から加入申し込みが始まる「収入保険」をご存じですか？

収入保険って何？

農業経営による収入全体を補償する保険

現行の農業共済制度は品目を特定し、自然災害や病虫害、火災などによる収量減少を対象としています。収入保険の場合は、「農家ごとの農産物による平均収入」に対して補償。減収があった年も補てんによって平均収入額の8割以上が確保できます。国庫補助により掛金率は1%程度。リスクを恐れず販路拡大や品目多角化に果敢にチャレンジできそうです。

対象になる農産物は？

米、野菜、果樹、葉タバコ、お茶、きのこ、蜂蜜など、全ての農産物収入が対象

果樹共済や野菜価格安定制度の対象外だったブルーベリー、アボカド、ルッコラ、ズッキーニなども含まれます。餅、仕上げ茶、梅干し、畳表、干しシイタケ、干し柿など、自家生産農産物に簡易な加工を施した物の販売収入もOK。ただし山菜、山採りきのこなど「農産物ではないもの」は×。マルキンなどの対象である肉用牛、肉用子牛、肉豚、鶏卵も対象外です。

どんなときに保険が下りる？

経営努力だけでは避けられない減収のほとんどが対象

収入に対する補償なので、気象条件や自然災害がもたらす収量減はもちろん、豊作による価格低下もOK。けがや病気、災害で作付けできない、収穫物保管中の事故、販売先の倒産といった場合も補償されるので安心です。

保管倉庫が浸水して
収穫物が売り物にならない！

輸出に取り組んだが
為替変動で売り上げ減！

市場価格が
低下した！

台風などの自然災害で
収量が減少した！

新しく取引を始めた
会社が倒産した！

災害で作付け
できない

収穫前の畑の作物が
盗難に遭った！

けがや病気で
収穫できない



イラスト：ゆきたけし

加入できるのはどんな農家？

農業経営で青色申告をしている
個人農家・法人が加入対象

収入を正確に把握する必要があるため、原則として5年間継続して青色申告をしている必要があります。兼業農家も農業収入部分についての申告があれば加入できます。確定申告は毎年3月15日が期限。これまで青色申告をしていなかった個人が収入保険に加入するには、まずは来年3月に税務署に申告書を提出できるよう準備するといでしょう。

「掛金」「補償額」の問合せ、お申し込み・ご相談は 栃木県農業共済組合河宇支所 TEL: 028-660-7300

収入保険は全国農業共済組合連合会が実施主体となり、各都道府県の農業共済組合等が窓口になります。詳しい説明も受けられる他、従来の農業共済とどちらが有利か検討するシミュレーションも用意しています。

営農情報 水稲

収穫の秋を迎えました。品質や食味を落さないことを重点に作業を行いましょう。

適期刈り取りの励行

刈り遅れは品質低下を助長します。収穫時期が近づいたら、登熟積算温度及び帯緑色粉率(籾の色)で収穫時期を判断し、葉色や出穂後の日数などに惑わされないようにしましょう(表1・図1)。

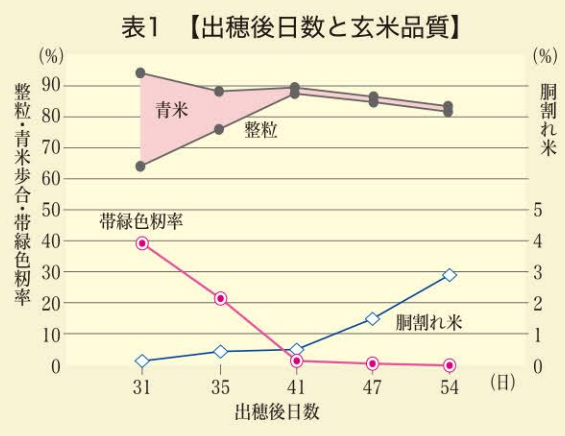
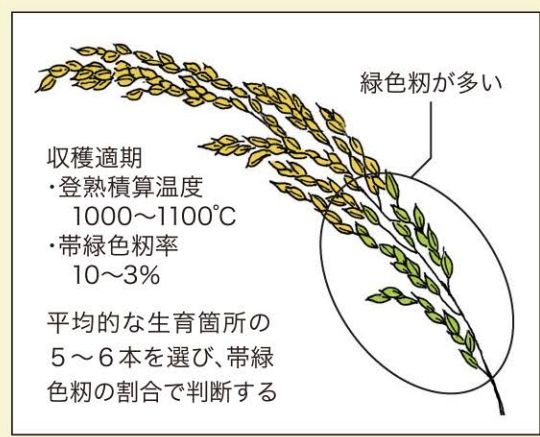


図1 収穫適期の判断の仕方



帯緑色粉率とは、不稔粒を除いた全籾数に対する黄緑色籾の比率で求められます。帯緑色粉率が10%程度になつたら刈り取りを始め、3%程度で刈り終わるのが最適です。

3%以下になると急激に品質が低下するので、大規模に作付けしている場合は、15%になつたら刈り始めることも検討しましょう。

また、収穫作業に伴う収穫物への土の混入及び、放射性物質の付着を防ぐため、刈り残しがない程度に高刈り(10cm以上)し、土の巻き込みを防ぎましょう。

乾燥調整作業

急激な乾燥や過乾燥は外観品質だ

けでなく食味も低下しますので、販売が不利になります。乾燥・調製の段階で胴割れ粒を増やさないように、注意しましょう。

乾燥機は、1時間当たりの乾減率が0.8%以下になるように設定しましょう。また、高水分の籾を乾燥するときは、2〜3時間通風乾燥した後、火を入れます。

15.1%以上の高水分米は、カビや肌ずれなどの品質事故を誘発しやすいので、水分計を使って14.5%の適正水分になるように調整しましょう。

籾摺機のロールは、最初の1回で80〜85%剥ける程度に調整します。乾燥直後の温かい籾を摺ると胴割れしやすいので冷えてから行いましょう。

なお、整粒歩合80%以上を確保するために、ライスグレーダーの網目は1.85mm以上を適正に使用し、未熟粒・屑米・異物の除去に努めましょう。

異品種および異物の混入防止対策

異品種や異物の混入には、購入者から厳しい目が注がれています。信用を得るためには生産段階から防止対策を徹底する必要があります。

収穫・乾燥・調製などの作業前には、品種が変わるごとに各機械の清掃を徹底しましょう。

混入事故は思わぬところで発生します。作業現場の清掃・整頓を徹底し、作業衣のポケットにも筆記用具やライターなど不用意に入れていないか確認して作業にあたりましょう。

また、近年イネ稲こうじ病が多発しています。農産物検査ではイネ稲こうじは異物として見られ、1粒でも混入が確認されると規格外になりますので注意して籾摺り作業をしましょう。

イネ縞葉枯病の収穫後の対策

イネ縞葉枯病のウイルスを保有するヒメトビウンカは再生稲(ひこばえ)やイネ科雑草に寄生し越冬することで個体数を増加させていきます。そのため、収穫後は速やかに耕起と畦畔管理を行いましょう。

大豆



害虫防除

栃木県農業環境改善センターによると、前年産大豆が登熟期の長雨によって、べと病や紫班病による被害が多発しており、圃場内の伝染源量が例年より多いと考えられます。今後の天候次第では病害が多発するおそれがありますので、適切な防除対策を取りましょう。

おいしくつくり形の良いダイコン作りのポイント

板木技術士事務所 板木利隆

家庭菜園

ダイコンは、強大な根を速いスピードで地中に形成するので、根形や品質が土壌や肥料栄養の影響を受けやすい性質を持っています。

そのためには、次のポイントを押さえて育てることが大切です。

(1)畑の準備と元肥の施し方
 少なくとも種まきの20日以上前に畑全面に石灰をまき、石ころや木切れなどを取り除きながら30cm以上の深さによく耕します。吸肥力は強い方なので、前作に堆肥が施してあれば、特に堆肥を与える必要はありません。
 痩せ地で有機物不足が心配なら、完熟堆肥と有機配合肥料をよく混ぜ合わせ、事前に醗酵させた物を、株と株の間に当たる所に施し、根の伸びを妨げないようにします。

(2) まきどきを守る

早まきし過ぎると病害虫の被害を受けやすく、遅過ぎると根の肥大不足になります。関東南部以西の温暖な平たん地のまきどきは8月中旬～9月中旬です。品種による違いもあるので、種子を求めるときに適期を確かめ、適期範囲のやや遅めにまき、管理を入念にして成長を促進するよう心掛けましょう。

(3) 間引きと追肥、入念な土寄せ

種子は1カ所5～6粒を、瓶などで円状に付けた溝にまきます。発芽して本葉1枚の頃から8～9枚の頃にかけて3回ほど間引き1本立てにします。間引く際には、子葉がハート形で素直に開いている株を残すようにします。異常に育ちの早い株や、形が非対称の株は、岐根や短形になる場合があるので残さないよう注意しましょう。

間引いたら株の周りに土を寄せ、風で振り回されないように保護し立

ち上げさせます。追肥は第2回の間引き時から半月ごとに3回ほど与え、土を掛けて畝を作ります。肥料は化成肥料と油かすに加え、米ぬかを混ぜると食味が良くなります。

(4) 害虫の予防、駆除を怠りなく

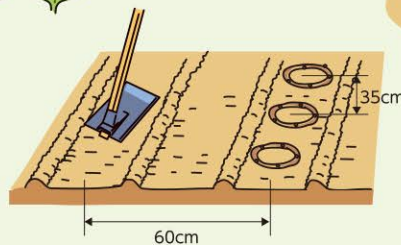
アブラナ科野菜の常として各種の害虫(シンクイムシ、コナガ、アブラムシ、ハスモンヨトウなど)の被害が出やすいので、早めに発見、適応農薬を散布して防ぎます。

農薬に頼らない防除法としてはソルゴーを何列か置きに作り障壁にすること、防虫ネットやべた掛け資材の被覆などがあります。被覆は種まき後3週間以内ぐらいにしないと生育に支障を来すので、除覆する時期に注意してください。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

種まきは円形の印を付けて

直径5～6cm



大型品種は株間を大きく



間引きのときは
子葉の形の良い物を残す

追肥

第1回は株の周囲に
第2回以降は列の片側ずつに



知って納得



「パワハラの話」



弁護士
小森 竜介
こもり りゅうすけ

【問】よくテレビや新聞で、職場でのパワハラが話題となっていますが、どういうものをパワハラというのでしょうか。

【答】職場のパワー・ハラスメント(パワハラ)とは、「同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為」と定義されています。

パワハラは、上司から部下に対する行為に限られるものではなく、人間関係における優位性を背景にする行為も含まれており、仲間外れといったいじめも含まれることとなります。

また、業務上必要な指示や注意・指導が適正に行われている場合には、パワハラには該当しません。

そして、パワハラには、次の6類型があるとされています。

- ① 暴行・傷害(身体的な攻撃)
- ② 脅迫・名誉毀損・侮辱・ひどい暴言(精神的な攻撃)

③ 隔離・仲間外し・無視(人間関係からの切り離し)

④ 業務上明らかに不要なことや遂行不可能なことの強制、仕事の妨害(過大な要求)

⑤ 業務上の合理性なく、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じることや仕事を与えないこと(過小な要求)

⑥ 私的なことに過度に立ち入ること(個の侵害)

それでは、職場でのパワハラが認定された場合、誰がどのような法的責任を負うのでしょうか。

まず、パワハラのは加害者は、精神的損害等を受けた被害者に対して、民法709条(不法行為)に基づく損害賠償責任を負います。

次に、会社は、従業員に対して安全配慮義務という法的義務を負っているの、職場でのパワハラが認定された場合には、その義務に違反したことになります。そこで、会社は、被害者に対して、契約違反(債務不履行)を理由とする損害賠償責任を負うこととなります。

法律税務相談日

9月20日(木)

無料ですが予約が必要です。

最寄りの支所へお申し込みください。相談時間は午後1時から先着受付順です。資産管理や土地有効活用などもお気軽にご相談ください。

健康百科

たばこに関するお話



上都賀総合病院
健康管理センター
地域医療部長
鈴木 恵理
すずき えり

2018年7月に受動喫煙防止法が成立しました。しかし規制対象飲食店は約45%にとどまっている状態です。受動喫煙による国内推計死者数は年間1・5万人とのデータがあり、交通事故死者数の4倍相当になります。喫煙関連死者数になると2007年国内死亡者数96万人中12・9万人が煙草に關与していると統計結果がでています。

最近使用が増加している電子タバコに関して、日本禁煙学会から緊急警告が出されています。ホルムアルデヒド、アクロレイン、ベンズアルデヒドの発癌物質は、ほぼ従来の煙草と同様だと判明しました。更に電子タバコは煙が見えにくく、臭いもわずかなので、避けることが困難という重大な問題点があります。電子タバコは臭いがわずか

なりませんが、ニコチン、発癌物質はしっかり存在し、受動喫煙は増える心配があるという現実が見えてきました。臭いが気にならないために吸う本数が増えたら更に心配です。

身近に癌の方がいて、一緒に悲しんだ人なら、癌の悲しみがわかると思いますが、身近な方が若くして心筋梗塞で突然命を失ったなら、1人でもそのような方を減らしたいと思うでしょう。しかし、そのような経験がない方は、煙草の恐ろしさをまだ実感できていない可能性があります。

2016年国内成人喫煙率は18・3%、2010年は19・5%でしたので、確実に喫煙者は減少しています。依然として多くの方が煙草から離れられずにいます。ストレスに耐え頑張るために煙草に頼り、体を書してゆく方にも多く接してきました。煙草による気分の良さが、禁断症状を起こし、寿命と引き換えになります。

お店に普通に売っているのだから、そんなに体に悪いわけではないのでしょうか?と質問されたこともあります。急に大きく世の中を変えることは難しい、でも1人でも多くの方に健康を害する煙草から離れて欲しい、健康であって欲しい、そう心から願っています。

なお、上都賀総合病院では今年6月から禁煙外来を再開致しました。いつでもご相談ください。

河内支所 だより



ナイスプレーの連続でした

当日は天気にも恵まれ、小嶋順作会長の「日頃の練習の成果を充分に発揮し、本大会目指して頑張ってください」とのあいさつの通り、全員が楽しく笑顔で楽しみました。

年金受給者友の会河内支部は7月4日にグラウンド・ゴルフ大会を開催しました。会員24人が参加し、元気にプレーしました。

**楽しく元気に
笑顔で!!**

来店感謝祭を開催

7月13日に支所入口前で、来店感謝祭を開催しました。

日頃のご利用に感謝を込めて、ご来店いただいた方にプレゼントを配布。また地元駐在所の警察官を招き、振り込め詐欺に対する注意を呼びかけました。

なお来店者アンケートでは貴重なご意見をいただきましたので、さらなるサービス向上に努めて、愛される利用される地域金融機関を目指します。



来店感謝祭の様子

河内支所新メンバー

4月の定期異動により、河内支所では5人の職員が新たにスタメン入りしました。

「超」が付くほど真面目な融資渉外の大草和也さん、アウトドア大好き共済外務員の淡路優さん、某幼稚園児キヤラ大好き金融窓口担当の半田菜摘さん、いつもニコニコ笑顔の金融渉外の嶋田楓さん、常にマイペースな共済担当新人、河村崇広さんの5人です。

1日でも早く、利用者の皆様に顔と名前を覚えていただき、お役に立てるように努めます。



後列左から大草さん、淡路さん
前列左から、半田さん、河村さん、嶋田さん

支所・センター電話番号

中央支所 028-633-3467	南河内支所 0285-48-2211
宝木出張所 028-622-6111	上三川支所 0285-55-1510
平石支所 028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター 028-665-0550
南部支所 028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター 028-658-6565
城山支所 028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター 028-656-8484
北部支所 028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター 028-660-3535
豊郷支所 028-624-8011	上河内営農経済センター 028-674-2164
清原支所 028-667-0151	河内営農経済センター 028-673-6911
姿川支所 028-658-6881	南河内営農経済センター 0285-48-2215
上河内支所 028-674-3333	上三川営農経済センター 0285-55-1511
河内支所 028-673-3135	

各種お問い合わせはこちらへ

- キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル0120-082065
- 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センターフリーダイヤル0120-258931
- JA葬祭(24時間受付)
JA栃木ライフ 028-660-3300
アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
アトラス鶴田駅前ホール 028-633-9200
アトラス上三川ホール 0285-55-1555
- LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配送
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
※緊急連絡先028-633-0085